

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ〜す
<https://japan.otakaranews.com>

じゃぱんお宝にゅ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

日立建機

クラウド型転圧管理ソリューション提供

クラウド型転圧管理ソリューション「Solution Linkage Compactor」提供開始
転圧回数をリアルタイムに可視化、施工の効率化やオペレータ負担軽減に寄与

2022年9月より
提供を開始

日立建機株式会社(社長：平野 耕太郎氏)は、土工用振動ローラZC120S-6(2022年6月発売開始)の後付け可能オプションとして、クラウド型転圧管理ソリューション「Solution Linkage Compactor(ソリューション リンケージ コンパクター)」を開発した。同サービスにより、リアルタイムに転圧状況の記録が可能となり、これまで人が行っていた転圧回数や施工管理の記録と確認の業務が省略できるため、作業の効率化や工期の短縮、オペレータの負担軽減に寄与する。同サービスは2022年9月より、国内市場向けに提供開始する。販売価格は、初期費用が218万円(税別)、アプリ利用料が4万円/月(税別)。

転圧回数の管理
確認業務を省略

道路や舗装を締め固める施工は、転

圧によって地面の密度を均等に強化する。

また、締め固める地面の状態や性質により、人が転圧回数を数えて管理を徹底し、施工後にどの程度締め固まっているか密度試験を行い、含水比や粒度を確認する必要がある。

さらに、施工内容の記録として、転圧回数や試験結果の数値を用い、帳票の作成も求められる。

同サービスでは、GNSSアンテナを用いて記録した土工用振動ローラの走行軌跡がクラウド上にアップロードされるため、「オペレータ向けアプリ」と「管理者向けアプリ」のそれぞれで、リアルタイムに転圧の施工状況の記録と管理ができる。これにより、従来、人が行っていた転圧回数の管理や施工後の確認業務を省略することができ、施工の品質を確保したまま、作業の効率化や工期の短縮、オペレータの負担軽減に寄与する。

また、国土交通省が定める「TS/GNSSを用いた盛土の締め固め管理要領(令和2年3月版)」に準拠しており、i-Constructionの施工現場でも活用することができる。

リアルタイムに
転圧回数を確認

同サービスは、“オペレータ向けアプリ”で、リアルタイムに転圧回数の確認が可能。運転室内に設置したタブレット端末上のアプリに、土工用振動ローラの走行軌跡がリアルタイムに更新され、転圧を行った回数ごとに色分け表示される。これにより、オペレータは転圧回数が不足している箇所の有無を一目で確認することができ、オペレータの負担軽減につなげることができる。

遠隔地にいながら
施工の進捗確認
帳票作成が可能

また、遠隔地にいながら施工の進捗確認や帳票作成が可能で、PCやタブレット端末などから閲覧でき、“オペレータ向けアプリ”と同様に、現在行っている転圧作業の進捗状況を、遠隔地にいながらでもリアルタイムに確認することができる。

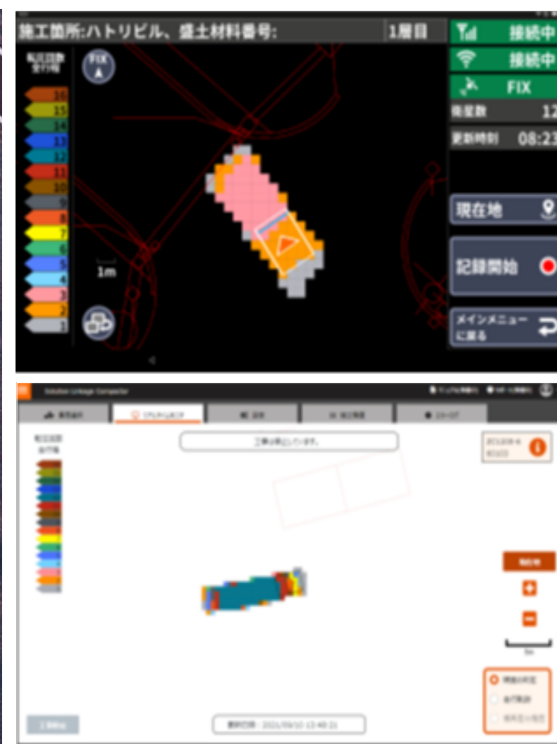
国土交通省が定める
管理要領にも準拠

さらに、転圧を行う施工現場の各種情報や、規定の転圧回数、図面情報などの登録や、過去に完了した転圧作業履歴の確認のほか、記録されたデータをクラウドから抽出して電子データの帳票出力も行うことができる。電子データの帳票出力は、国土交通省が定める管理要領に準拠しているため、i-Construction対象の施工でも活用できる。

日立建機グループは、今後も引き続き、「地球上のどこでもKenkijinスピリットで身近で頼りになるパートナー」をめざしていく。

ICT建機の販売のみならず、ユーザーニーズに沿ったICT・IoTソリューション「Solution Linkage」を提供することで、個客の課題である「安全性向上」「生産性向上」「ライフサイクルコスト低減」に貢献する。

(※資料提供：日立建機)



■日立建機URL→ <https://www.hitachicm.com/global/jp/>